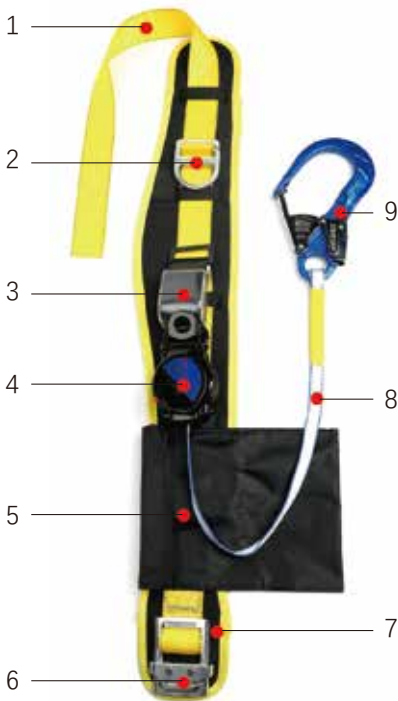


使用説明書

腰部速度差シートベルト



命名



1,高強度ナイロンテープ

2,ステンレス鋼リング

3,落下防止バック装置

4,速度差セルフロック装置

5,道具袋

6,調節可能なラッチ

7,通気性パッド

8,DSM高強度ウレピンク

9,7075航空アルミフック

警告

これらのツールを使用する必要がある活動は、潜在的に危険であり個人の行動や判断に責任を持つ必要があります。

少なくとも12ヶ月に一度は有資格者による入念な点検をお勧めします。

PPE点検票には、以下の情報を記入してください。

タイプ、モデルメーカー情報、シリーズ番号、日付、製造購入、初回使用、次回点検、問題点、点検者名、署名。

機器の完全性は、あなたの安全性に関係します。

これらのツールを使用する前に、以下を行う必要があります。

- すべてのユーザーガイドを読み、理解する
- 正しい使い方を身につけるためのトレーニング
- 製品の機能と制限についてよく理解すること
- 関連する危険を理解し、受け入れること



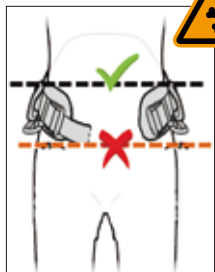
このマニュアルのこれらの標識に注意してください、そしないと、重傷を負ったり死亡する可能性があります！



着用方法

ステップ1

写真のようにハーネスを腰に巻き速度差装置を後ろにつける。



シートベルトは腰骨の上まで締めなければなりません。
それ以上上げるとベルトが外れて重大な安全障害
を引き起こす恐れがあります。



ステップ2

左図のようにナイロンストラップを調整用バックルの中央部に通す。

ステップ3

写真のようにバックルの調整部分を手でつまんで隙間を引き抜きナイロンストラップを隙間に通してください。



ステップ4

ハーネスが落ちないようにナイロンストラップをしっかりと締め、余分な部分をホー

速度差デバイスの使用方法

ドロップバッファ



速度差セルフロック装置



ノブを写真の位置に動かすと、弾性力の作用でロープが自動的に引き戻されます。



ノブを写真の位置に動かすと、ロープが跳ね返ることなく、必要な長さまで自動的に伸びます。

フックの使用方法



大型フックは不用意に開かないように設計されているため、下図の「1」を押して開口部「2」を開く必要があります。

本書では、製品の正しい使用方法を説明しています。技術や使用方法については、いくつかの例のみを掲載しています。

製品の使用に関連する危険については、警告のマークが付いています。ただし、製品の使用に関連する危険の全てをここに網羅することはできません。

警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用する事は、ユーザーの責任です。本製品の誤使用は危険を増加させます。